

明治ホールディングス株式会社

2023年7月27日

報道関係者各位

## 「SBT (Science Based Targets) 1.5°C」認定を取得

～明治グループ長期環境ビジョンの実現に向け、  
「人も、地球も、健やかな未来へ。」に貢献していきます～

明治ホールディングス株式会社（代表取締役社長 CEO：川村 和夫）は、2023年6月27日、国際的な機関である SBT イニシアチブより、明治グループの温室効果ガス削減目標が科学的根拠に基づいた目標であることが認められ、「SBT 1.5°C」認定を取得しました。

今回認定を取得した目標は、以下の通りです。

- ・ スコープ 1+2：2030 年度までに温室効果ガス排出量を 2019 年度基準で 50%削減
- ・ スコープ 3：2030 年度までに温室効果ガス排出量を 2019 年度基準で 30%削減

対象範囲は、以下の通りです。

- ・ スコープ 1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出（燃料の燃焼等）
- ・ スコープ 2：他社から供給された電気・熱・蒸気の使用に伴う温室効果ガスの間接排出
- ・ スコープ 3：購入した製品やサービス、上流と下流の輸送、販売した製品の使用後の廃棄に伴う温室効果ガスの間接排出



SCIENCE  
BASED  
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

SBT イニシアチブとは、UNGC（国連グローバル・コンパクト）、CDP※（旧称カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト）、WRI（世界資源研究所）、WWF（世界自然保護基金）が共同で設立した国際的な機関です。

※（参考）CDP ジャパン ウェブサイト <https://japan.cdp.net/>

SBT イニシアチブは、産業革命前からの世界の平均気温上昇を、2°Cを十分に下回るまたは1.5°Cに抑えることを目指す「パリ協定」が求める水準に整合するように、科学的根拠に基づいた温室効果ガス削減目標の設定を世界の企業に働き掛け、審査・認定を行っています。

2023年3月1日現在、世界全体では2,310社、日本国内では369社の企業が認定を取得しています。

明治グループは2020年12月に明治グループ長期環境ビジョン「Meiji Green Engagement for 2050」を策定し、「気候変動」「水資源」「資源循環」「汚染防止」の4つのテーマに取り組んでいます。「気候変動」では、2050年までにサプライチェーン全体でCO<sub>2</sub>などの温室効果ガス排出量を実質ゼロ（カーボンニュートラル）にする目標を掲げています。

今後も持続可能な社会の実現に向けて、温室効果ガス削減に積極的に取り組んでまいります。

#### 【参考情報】

- ・ 明治グループ長期環境ビジョン「Meiji Green Engagement for 2050」

<https://www.meiji.com/sustainability/harmony/management/>

以上

#### 【本件に関するお問い合わせ先】

明治ホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部  
TEL：03-3273-3917 メールアドレス：ir-info@meiji.com